



お辞儀の練習をする新入社員たち
 大垣市恵比寿町、大垣西濃信用
 金庫本部

大垣西濃信金 取引先新入社員ら研修

大垣西濃信用金庫は14日、取引先企業の新入社員らを対象にした研修会を大垣市恵比寿町の同金庫本部で開いた。

建設会社や染色会社、官公庁など16事業所の33人が参加。新型コロナウイルスの感染防止のため、午前と午後の2部に分けて行った。

講師は秘書実務、接遇マナー講師の石崎友子さんが務め、社会人としての心構えやコミュニケーションの取り方、お辞儀の仕方などを伝えた。

お辞儀の仕方では、基本姿勢から指導。2人一組に分けてそれぞれ実際にお辞儀をさせながら指導した。石崎さんは「お辞儀はコロナ禍で接触できなくても気持ちいを伝えられる。声が届かないような場所でも、まずは会釈をするだけでも気持ちいは伝わる」とお辞儀のメリットについて話していた。

15日にも同本部で同様に研修会を開き、49人が受講する。

「気持ち伝わるお辞儀」練習

19日には入社10年程度までの中堅社員を対象にした研修会を開き、28人が受講する。
 (鈴木隆宏)